

12月定例議会

行政報告 (1)

平成19年12月定例議会は、11月30日に開会、12月19日までの会期で開かれています。初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また11日、12日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、19日の最終日に採決が行われます。今号と次号の2回にわたり行政報告についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

平成19年度職員採用第1次試験が実施され、一般上級職29名、一般初級職12名、初級消防吏員13名が受験しました。第1次試験合格者に対し、11月に初級消防吏員と、初級・上級一般職の第2次試験を実施しました。第2次試験の合格者は、20年4月1日付けで採用されます。

企画部関係

■総合政策課

機構改革は、平成22年度を最終年度として段階的に組織を見直しており、来年4月には、現在の総合支所方式から本所と支所の機能を統合する集中管理方式へ移行する予定でしたが、豪雨災害を受け、今後、災害時と緊急対応に対する検討が必要となったことから、来年4月には大幅な機構改革は行わず、必要な事務事業を見直す方向で検討しております。

市民生活部関係

■保険課

高齢者の医療の確保に関する法律により、保険者は平成20年度から5年ごとの計画を立てて生活習慣病等の予防にあたることになり、特定健康診査等実施計画を策定し、新年度に向けた取り組みを図っています。

■医療推進課

市民病院建設に向けて、二次造成工事が進められています。入札会において、建築、電気、機械の全ての業者が決まりました。工事関係者合同によるミーティングを行い、平成21年10月の開院に向け病院建設がスタートしました。

■保健センター

成人検診事業については、集団検診が終了し、その受診状況は基本健康診査3859人、胸部総合検診4153人、喀痰検査89人、大腸がん検診3648人、前立腺がん検診1

184人、胃がん検診2231人、子宮頸がん・卵巣腫瘍検診627人、乳がん検診529人、骨粗しょう症検診419人、肝炎ウイルス検診185人となっています。



▲婦人科集団検診の様子
(乳がん、子宮がん、骨粗しょう症検診)

■生活環境課

豪雨により発生した水害廃棄物の処理は、当初、10月末までをめぐりに、長下処分場と鷹巣埋立地に搬入し処理する予定でしたが、回収依頼の延期要望が多かったことから、11月末まで市が回収しました。その発生量は4000トンを上回ると推計され、受け入れに伴い、長下処分場の残余容量が大幅に少なくなり、今後災害廃棄物が発生した場合は、鷹巣埋立地への搬入をお願いしています。

■市民課

10月末日現在の住民登録者数は、3万9293人でその内訳は、男1万8555人、女2万738人、世帯数は1万4781世帯となっています。

福祉事務所関係

■福祉課

11月1日現在の生活保護世帯数は、328世帯、440人となっています。中央公民館分館の老朽化等により移転を進めていた「もろびこども園」は、旧鷹巣北幼稚園を新園舎として業務を開始しました。

豪雨により床上浸水した合川保育園の災害復旧は、建設時の施工業者の早期対応により、運営における最低のラインが確保され9月25日から通常保育を実施しています。備品の入れ替えや修繕などを含む災害復旧工事は床下の消毒作業などを最後に、11月末で完了しました。

北秋田市コウノトリ委員会では、気軽に集える「出会いの広場」を8月は北欧の杜公園で、10月は北秋田市中央公民館において開催しました。それぞれ50人余りの参加を得、数組のカップルが誕生しております。12月には大館能代空港ビルを借り切って第3回「出会いの広場」を予定しております。

■高齢者支援課

敬老式は、4地区10会場において開催しました。本年は、75歳以上の対象者7499人のうち、入所施設で参加した方も含め3057人が参加し、参加率は40.8%です。



▲床上浸水の被害を受けた合川保育園

介護予防事業として、「げんきワールド」を拠点に実施している市民介護予防講座は、毎回テーマを設けながら月2回の割合で開催しており、47名が参加しております。今後も引き続き開催の予定です。

介護保険は、10月末現在の認定者数は2597人で、そのうち介護サービス利用者数が2042人で、受給率は78.6%です。

■地域包括支援センター

地域支援事業として、要支援、要介護状態に近いと認められる高齢者に対し、自分らしい自立した生活が送れるよう保健センターと連携を図り、運動器の機能向上などの介護予防事業を提供しています。10月末現在の該当者は350人で、そのうち75人がサービスを利用しております。

産業部関係

■農林課関係

水稲は、6月から7月上旬の気象が高温多照で、気温日格差も確保され生育もおおむね順調でしたが、収穫を目前に豪雨災害による河川の氾濫、冠水・土砂流入等により甚大な被害を被りました。大雨による農地の冠水面積は、2125ha、被害額は農作物等で約5億9000万円、農地・農業用施設20億6300万円、林地等8300万円となっています。被災農家への種子・比内地鶏の支援事業による農家負担の軽減、農地や農業・林道施設等の復旧を進めます。

畜産は、市営牧場への放牧は高津森牧場を最後に終了しており、3牧場へ放牧した農家数は49戸、実頭数203頭、延べ頭数2万3702頭となっています。また、比内地鶏は出荷羽数、販売額とも前年を大きく下回っており、比内地鶏製品製造施設等が浸水被害のため、使用できなかったことが大きな要因です。

全国植樹祭は、開催日が平成20年6月15日に決定しました。

■商工観光課

豪雨災害は、観光施設や土木・農業施設に甚大な被害をもたらし、営業休止を余儀なくされる施設も多く発生しました。その後の本格的な秋

の行楽シーズン前に、ほとんどの道路が部分開通するなど、観光施設も営業をほぼ再開しました。しかし、まだ完全復旧にはほど遠く、今後の本格的な対策が求められています。

北秋田市うめもん創作協議会による「比内地鶏の美味しい店」旗揚げ式が開催され、比内地鶏メニューを提供する24業者25店の経営者らが、口ゴ入り幟を手に、氣勢を挙げました。阿仁スキー場の「ゴンドラで行く森吉山紀行」、「花の百名山」や紅葉シーズンに全国から前年を上回る、1万9419人の観光客が訪れました。



▶北秋田市うめもん創作協議会
「比内地鶏の美味しい店」旗揚げ式